



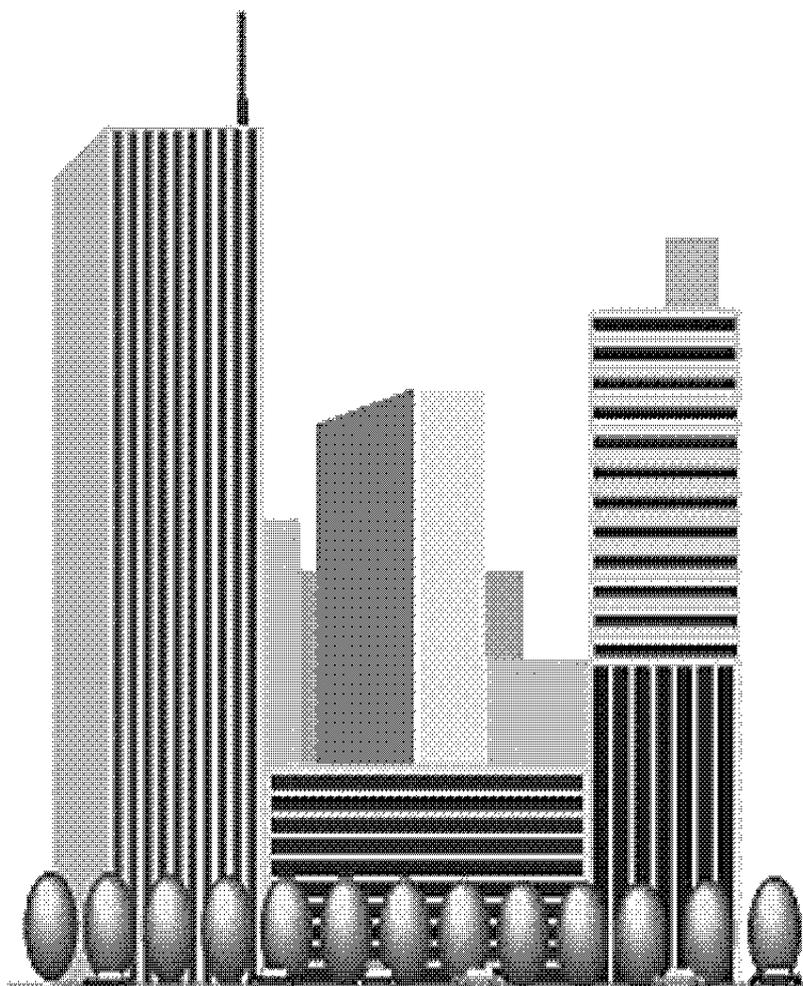
完全水系多彩模様外装仕上塗材

カラリアート

# COROREART

アクリルシリコン系

標準施工要領書



**MEIKOH CO.,LTD.**

# 素地調整マニュアル

## ◇ 新設の場合

### ▼コンクリート モルタル

コンクリート、セメントモルタル面の下地は十分に乾燥（含水率10%、PH10以下）させてください。含水率、アルカリ分等に注意し、それらが十分に低下したところで塗装してください。

下地表面のゴミ、粉塵等はブラシ、ウエス等にて清掃し、油類の付着汚れは、シンナー、中性洗剤等で十分に溶かしケレン工具にて除去してください。

レイタンス、エフロレッセンス、ドライアウト等の面はサンダー、ワイヤーブラシ等にて除去して下さい。

- ・クラックのある場合
  - ①クラック部分をVカットして下さい。
  - ②弾性系シーリングを充填して下さい。
  - ③樹脂モルタルにて埋め戻しを行ってください。
  
- ・ピンホールのある場合
  - ①3mm以上：樹脂モルタルにて埋め戻しを行って下さい。
  - ②3mm未満：カチオンタイトFにて補修して下さい。
  
- ・凸凹や  
目違いのある場合
  - ①凸部はサンダーにて平滑にして下さい。
  - ②水洗い後、乾燥させて下さい。
  - ③凹部はカチオンタイトFにて補修して下さい。

### ▼ALCパネル

全面に強化フィラーを塗布し、目地部は板材メーカーの指定のコーキング材にて処理し、逆プライマー施工後、カラリアート塗装を行って下さい。

### ▼PCパネル

目地部は板材メーカー指定のコーキング材にて処理し、逆プライマー施工後、カラリアート塗装を行って下さい。

- ・ピンホール、  
巣穴のある場合
  - ①3mm以上：樹脂モルタルにて埋め戻しして下さい。
  - ②3mm未満：カチオンタイトFにて補修して下さい。

### ▼窯業系サイディング

目地部は板材メーカー指定のコーキング材にて処理し、逆プライマー施工後、カラリアート塗装を行って下さい。

★ カチオンタイトの乾燥時間（季節・作業状況・塗厚等により異なります。）

カチオンタイトF： 24時間以上

◇ 下地の劣化表

劣化度	I	模様・色替えの時期	II	改修に最適な時期	III	大掛かりな改修工事を行う時期
塗膜の劣化内容		汚れ、クラック、チョーキングが僅かに発生しているが、塗膜は健全である。		汚れ、クラック、チョーキングが進み部分的に浮き、剥離が見られる。		汚れ、クラック、チョーキング、浮き、剥離が進行し、機能性の低下が著しい。

▼PCパネル

目地部は板材メーカー指定のコーキング材で処理し、逆プライマー施工後、カラリアート塗装を行って下さい。

- ①清掃
- ②場合によって樹脂モルタル又はカチオンタイトFにて補修して下さい。

▼窯業系サイディング

目地部は板材メーカー指定のコーキング材で処理し、逆プライマー施工後、カラリアート塗装を行って下さい。

- ①清掃
- ②場合によって樹脂モルタル又はカチオンタイトFにて補修して下さい。

## ◇ 改 修 の 場 合

旧塗膜は劣化状態が様々でその下地処理も状況に応じて千差万別である為、必ず診断を行い適切な処理を行って下さい。下記はその一部ですので参考にして下さい。

### ▼薄付け仕上げ塗材 (リシン等)

表Ⅰの場合 ①ブラッシング洗浄又は高圧洗浄を行って下さい。

表Ⅱの場合 ①劣化の著しい箇所は塗膜を完全に除去して下さい。  
②ブラッシング洗浄又は高圧洗浄を行って下さい。  
③MKマルチシーラー-NANOを塗布して下さい。  
④カチオンタイトFにて補修して下さい。

表Ⅲの場合 ①旧塗膜をサンディング等で完全に除去し、下地を露出させて下さい。  
②ブラッシング洗浄又は高圧洗浄を行って下さい。  
③MKマルチシーラー-NANOを塗布して下さい。  
④カチオンタイトFにて補修して下さい。

### ▼複層仕上げ塗材 (吹付タイル等)

表Ⅰの場合 ①トップコートをサンディングで除去して下さい。  
②ブラッシング洗浄又は高圧洗浄を行って下さい。

表Ⅱの場合 ①劣化の著しい箇所は塗膜を完全に除去して下さい。  
②カチオンタイトFにて補修して下さい。  
③活塗膜の主材部分を目粗しして下さい。  
④ブラッシング洗浄又は高圧洗浄を行って下さい。

表Ⅲの場合 ①旧塗膜をサンディング等で除去し、下地を露出させて下さい。  
②ブラッシング洗浄又は高圧洗浄を行って下さい。  
③MKマルチシーラー-NANOを塗布して下さい。  
④カチオンタイトFにて補修して下さい。  
⑤カチオンタイトFにて全面コテ塗りを行って下さい。

▼単層仕上げ塗材  
(単層ローラー・  
単層弾性)

- 全ての場合
- ①旧塗膜の浮きがある場合はサンディング等で完全に除去し、下地を露出させて下さい。
  - ②ブラッシング洗浄又は高圧洗浄を行って下さい。
  - ③MKマルチシーラーNANOを塗布して下さい。
  - ④カチオンタイトFにて補修して下さい。

▼石材調仕上げ塗材

- 表Ⅰの場合
- ①ブラッシング洗浄又は高圧洗浄を行って下さい。

- 表Ⅱの場合
- ①劣化の著しい箇所は塗膜を完全に除去して下さい。
  - ②カチオンタイトFにて補修して下さい。
  - ③活塗膜の主材部分をサンディングし除去して下さい。
  - ④ブラッシング洗浄又は高圧洗浄を行って下さい。

- 表Ⅲの場合
- ①旧塗膜をサンディング等で完全に除去し、下地を露出させて下さい。
  - ②ブラッシング洗浄又は高圧洗浄を行って下さい。
  - ③MKマルチシーラーNANOを塗布して下さい。
  - ④カチオンタイトFにて補修して下さい。

▼コンクリート打ち放し

- 表Ⅰの場合
- ①ブラッシング洗浄又は高圧洗浄を行って下さい。

- 表Ⅱの場合
- ①P1の下地別素地調整を参考に補修して下さい。
  - ②ブラッシング洗浄又は高圧洗浄を行って下さい。

- 表Ⅲの場合
- ①P1の下地別素地調整を参考に補修して下さい。
  - ②ブラッシング洗浄又は高圧洗浄を行って下さい。

▼化粧タイル板

- 表Ⅰの場合
- ①ブラッシング洗浄又は高圧洗浄を行って下さい。

- 表Ⅱの場合
- ①P2の下地別素地調整を参考に補修して下さい。
  - ②ブラッシング洗浄又は高圧洗浄を行って下さい。

⇒ 素地調整以降の工程は標準施工仕様をご参照下さい。

■カラリアート吹付用 標準施工仕様

工 程	材 料 名	塗布量kg/m <sup>2</sup>	塗布回数	水希釈%	塗装間隔H	塗 装 器 具
素 地 調 整	埃、汚れ、油類等の付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整して下さい ( PH9以下 含水率10%以下 )					
シーラー処理	MKマルチシーラーNANO	0.11～0.17	1	0	2以上	ウールローラー・刷毛 スプレー
下塗り	新築 カラリアートアンダーコート吹付用	0.15～0.25	1	5以下(ローラー)	3以上	スプレー ウールローラー・刷毛
	改修 カラリアートアンダーコート S	0.70～1.0		0 (ローラー)	5以上	スプレー 砂骨ローラー・刷毛
上 塗 り	カラリアート 吹付用	0.5 ～0.7	1～2	0	4以上	万能ガン『ふくべー』又 は『ニューマルチガン』 口径：5～6mm 吹圧：2kgf/cm <sup>2</sup>

(20℃ 65%RH)

- 【 養 生 】 ・ 施工面以外に材料が付着しないように養生テープ・ビニール等で十分に養生して下さい。
- ・ ペイント塗装面は①粘着力の弱いテープ(紙テープ)で捨て貼り後、②ガムテープ付きのロールマスキで養生を行って下さい。
  - ・ その際、施工面から吹き厚み程度逃げて養生して下さい。
  - ・ 上塗り終了後、早い時期に養生は外して下さい。乾燥後取る場合はカッターナイフ等で切れ目を入れてから除去する様にして下さい。

- 【材料の調整】 ・ MKマルチシーラーNANOは希釈しないで下さい。性能低下の原因になります。
- ・ カラリアートアンダーコート吹付用は若干量の水(6～8%)を加えハンドミキサーで充分攪拌して下さい。
  - ・ カラリアートアンダーコート Sは若干量の水(15～20%)を加えハンドミキサーで充分攪拌して下さい。
  - ・ カラリアート吹付用は**無希釈で使用**して下さい。開缶後は塗料が均一になる様、柄杓等で穏やかに混ぜて下さい。マーゼル(電動ミキサー)の様な高速回転の攪拌機を使用しますと模様を形成する粒子が破壊されますので**絶対に使用しない**で下さい。

【荷姿・容量】	材 料 名	容量	単位	塗 布 量
	MKマルチシーラーNANO	14L	石油缶	80～120m <sup>2</sup> /缶
	カラリアートアンダーコート吹付用	16kg	ポリペール缶	64～106m <sup>2</sup> /缶
		4kg	ポリペール缶	16～26m <sup>2</sup> /缶
	カラリアートアンダーコート S	16kg	ポリペール缶	16～22m <sup>2</sup> /缶
	カラリアート吹付用	16kg	ポリペール缶	26～32m <sup>2</sup> /缶

- ・ 上記の数値は全て標準値です。被塗物の形状、種類、素地の状態、施工条件により、増減しますので、事前に試し塗りをを行い確認して、本施工に入して下さい。
- ・ 改修の場合、表面クラックの防止の為、カラリアートアンダーコートSを御使用下さい。

■カラリアート吹付用 新築ALC施工仕様

工 程	材 料 名	塗布量kg/m <sup>2</sup>	塗布回数	水希釈%	塗装間隔H	塗 装 器 具
素 地 調 整	埃、汚れ、油類等の付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整して下さい					
下 地 処 理	強化フィラー	0.6～1.0	1	5～10	3以上	ウールローラー・刷毛
				8～12	3以上	スプレー
下 塗 り	カラリアートアンダーコート吹付用	0.15～0.25	1	6～8	3以上	ウールローラー・刷毛・スプレー
上 塗 り	カラリアート吹付用	0.5～0.7	1～2	0	4以上	万能ガン『ふくべー』又は『ニューマルチガン』 口径：5～6mm 吹圧：2kgf/cm <sup>2</sup>

(20℃ 65%RH)

- 【養生】
- ・施工面以外に材料が付着しないように養生テープ・ビニール等で十分に養生して下さい。
  - ・ペイント塗装面は①粘着力の弱いテープ(紙テープ)で捨て貼り後、②ガムテープ付きのロールマスカーで養生を行って下さい。
  - ・その際、施工面から吹き厚み程度逃げて養生して下さい。
  - ・上塗り終了後、早い時期に養生は外して下さい。乾燥後に取り除く場合はカッターナイフ等で切れ目を入れてから除去する様にして下さい。

- 【材料の調整】
- ・カラリアートアンダーコート吹付用は若干量の水(6～8%)を加えハンドミキサーで充分攪拌して下さい。
  - ・カラリアート吹付用は**無希釈で使用**して下さい。開缶後は塗料が均一になる様、柄杓等で穏やかに混ぜて下さい。マーゼル(電動ミキサー)の様な高速回転の攪拌機を使用しますと模様を形成する粒子が破壊されますので**絶対に使用しない**で下さい。

【荷姿・容量】	強化フィラー	20kg	石油缶	20～33m <sup>2</sup> /缶
	カラリアートアンダーコート吹付用	16kg	ポリペール缶	64～106m <sup>2</sup> /缶
		4kg	ポリペール缶	16～26m <sup>2</sup> /缶
	カラリアート吹付用	16kg	ポリペール缶	26～32m <sup>2</sup> /缶

- ・上記の数値は全て標準値です。被塗物の形状、種類、素地の状態、施工条件により、増減しますので、事前に試し塗りをを行い確認して、本施工に入して下さい。

## 【 塗装方法 】

### 下塗り

- ・調整したカラリアートアンダーコート吹付用をスプレーガン又はウールローラーで下地が完全に隠ぺいする様に塗装して下さい。隠ぺい不足は仕上がりムラ、色ムラの原因となりますので入念に行ってください。
- ・低温下で施工する場合、カラリアートアンダーコート又はカラリアートアンダーコートSが完全に乾いている事を確認してから上塗りの施工を行ってください。

### 上塗り

- ・調整したカラリアート吹付用を万能ガン(ふくべー)が被塗装面に対して垂直になる様に保ち30～40cm程度の距離で一定の吹き圧とスピードで正面から塗装します。斜めからの吹き付けは塗料の片寄り、吹きムラの原因となります。
- ・サンプルを見ながら色相、パターンを合わせる様、手元で空気量を微調整して下さい。
- ・ガンの口金が磨耗したものの使用は吹きムラの原因になりますので、定期的に新しいものと交換するようにして下さい。
- ・コンプレッサーは2馬力以上のもので出力に余裕のあるものを使用して下さい。
- ・一度に規定量を塗布するとタレや色ムラが生じる危険性がありますので2回に分けて塗装して下さい。
- ・部分的に塗布量が多すぎたり、少なすぎたりすると色ムラになる場合がありますのでご注意ください。
- ・複数の吹き手で仕上げる場合は、必ず相互の仕上がりが揃うように事前に打合せを行ってください。
- ・最終養生時間は16時間以上として下さい。
- ・汚れ、傷等により補修作業が発生する場合がありますので、使用した塗料の控えは必ず保管しておき同ロットによる材料で同じ塗装作業を行ってください。

## ■カラリアートローラー用 標準施工仕様

工 程	材 料 名	塗布量kg/m <sup>2</sup>	塗布回数	水希釈%	塗装間隔H	塗 装 器 具
素地調整	埃、汚れ、油類等の付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整して下さい (PH9以下 含水率10%以下)					
シーラー処理	Mkマルチシーラー-NANO	0.11~0.17	1	0	2以上	ウルローラー・刷毛
下塗り	新築 カラリアートアンダーコートローラー用	0.25~0.35	1	0~3	3以上	ウルローラー・刷毛
	改修 カラリアートアンダーコート S	0.7~1.0		0	5以上	砂骨ローラー(標準タイプ)・刷毛
上塗り	カラリアートローラー用	1.0~1.2	2	0	4以上 (塗装間隔)	砂骨ローラー(標準タイプ)・刷毛

(20℃ 65%RH)

【養生】・施工面以外に材料が付着しないように養生テープ・ビニール等で十分に養生して下さい。

- ・ペイント塗装面は①粘着力の弱いテープ(紙テープ)で捨て貼り後、②ガムテープ付きのロールマスカーで養生を行って下さい。
- ・その際、施工面から塗り厚み程度逃げて養生して下さい。
- ・上塗り終了後、早い時期に養生は外して下さい。乾燥後に取り除く場合はカッターナイフ等で切れ目を入れてから除去する様にして下さい。

【材料の調整】・MKマルチシーラーは希釈しないで下さい。性能低下の原因になります。

- ・カラリアートアンダーコートローラー用は若干量の水(0~3%)を加えハンドミキサーで充分攪拌して下さい。
- ・カラリアートアンダーコートSはハンドミキサーで充分攪拌して下さい。
- ・カラリアートローラー用は**無希釈で使用**して下さい。開缶後は塗料が均一になる様、柄杓等で穏やかに混ぜて下さい。マーゼル(電動ミキサー)の様な高速回転の攪拌機を使用しますと模様を形成する粒子が破壊されますので**絶対に使用しない**で下さい。

【荷姿・容量】				
MKマルチシーラー-NANO	14L	石油缶	80~120m <sup>2</sup> /缶	
カラリアートアンダーコートローラー用	16kg	ポリハール缶	45~64m <sup>2</sup> /缶	
	4kg	ポリハール缶	12~16m <sup>2</sup> /缶	
カラリアートアンダーコート S	16kg	ポリハール缶	16~22m <sup>2</sup> /缶	
カラリアートローラー用	16kg	ポリハール缶	13~16m <sup>2</sup> /缶	

- ・上記の数値は全て標準値です。被塗物の形状、種類、素地の状態、施工条件により、増減しますので、事前に試し塗りをを行い確認して、本施工に入して下さい。
- ・改修の場合は表面クラックの防止の為、カラリアートアンダーコートSを御使用下さい。

## 【 塗装方法 】

下塗り ・調整したカラリアートアンダーコートローラー用をウールローラーで下地が完全に隠ぺいする様に塗装して下さい。隠ぺい不足は仕上がりムラ、色ムラの原因となりますので入念に行ってください。

- ・低温下で施工する場合、カラリアートアンダーコート又はカラリアートアンダーコートSが完全に乾いている事を確認してから上塗りの施工を行ってください。

上塗り ・調整したカラリアートローラー用を予め充分含ませた砂骨ローラーで塗装します。

この際、ペアで作業を行うと良いでしょう。

1人が全体に配り塗りを行い、追いかけてもう1人が、ローラーを縦横に2往復つつゆくり移動させながらパターンが均一になる様に整えて下さい。

何度もローラーを転がしたり、ローラーを強く被塗装面に押し当てると、色のゲルが細かくなり仕上がりムラ、色ムラの原因になりますのでご注意ください。

- ・サンプルを見ながら色相、パターン等を合わせる様、テスト塗りを行って施工条件を決めて下さい。
- ・パターン付けの際は長い距離を一気に転がさず、手の届く範囲で作業して下さい。
- ・パターン付けは2回で仕上がる様にして下さい。塗り直しが必要な場合は上塗りが乾燥してから、部分補修を行ってください。
- ・面内での塗り継ぎは、継ぎムラが発生する場合がありますので、素早く作業を行ってください。大壁への施工には装飾養生をお勧めします。
- ・部分的に塗布量が多すぎたり、少なすぎたりすると色ムラになる場合がありますのでご注意ください。
- ・バケットには十分な材料を準備して下さい。ローラーに材料を含ませる際、バケットにローラーを押し当てたりしますと色のゲルが細かくなり、仕上がりムラになりますのでご注意ください。
- ・コーナー部、開口部等、ローラー塗装が行いにくい箇所については、コーナーローラー、ウィンナーローラー、刷毛等でパターンを合わせながら施工して下さい。
- ・複数の塗り手で仕上げる場合は、必ず相互の仕上がり揃うように事前に打合せを行ってください。
- ・最終養生時間は16時間以上として下さい。
- ・汚れ、傷等により補修作業が発生する場合がありますので、使用した塗料の控えは必ず保管しておき同ロットによる材料で同じ塗装作業を行ってください。

## 施工上の注意事項

- 気温 5℃以下、湿度 85%以上、風速 5m/sec以上及び降雨、降雪が予測される場合は施工を見合わせてください。（低温、高湿度、通風のない状態の場合、塗装後 24 時間以内に降雨、結露が発生しますと、白化、シミの原因となります。）
- 気温が高く直射日光が当たっている部位では表面乾燥が早くなりますので塗装を避けるか、シートなどで覆い、日陰での施工をお勧めします。
- 事前に施工作業者全員で試し塗りをを行い、パターンの統一及び施工工程などの条件を決めてください。
- 塗り替えなどの場合は一定塗装を行い、使用量を決定してください。下地の状態や形状、面積、塗装方法などによって見本と色調、パターンが多少異なる場合があります。
- シーリング材の上への施工はシーリングの種類・材齢により塗膜が密着しない事があります。必ず、逆プライマーを塗布後施工してください。又、シーリング材の成分により塗膜表面が汚染される場合がありますので注意してください。
- パターンにより、面内での塗り継ぎは、継ぎムラがおこりやすいので間隔を置かず素早くおこなってください。
- 使用器具等は施工後ただちに洗浄してください。
- 材料の保管は、直射日光及び凍結が心配される 5℃以下での貯蔵はさけてください。

安全衛生上の詳細な注意事項は、製品安全データシート（SDS）をご参照ください

☆ パターン等につきましては、下記ホームページでご覧いただけます。

<http://www.meikoh.com>





東京都渋谷区渋谷1-9-8 朝日生命宮益坂ビル7階

TEL 03-6451-1421 FAX 03-6451-1420

ホームページ <http://www.meikoh.com>

